

志教育全体計画

学校教育目標

「豊かな心を持ち自ら学び共に高め合う生徒の育成」

【生徒の実態】

・明るく素直な生徒が多い。ただし学習面での課題がある。

【教師の願い】

・学校・家庭・地域との連携を強め、地域の教育力を効果的に活用しながら、学力向上を目指すとともに、地域全体で子供を守り、育てる環境を作っていききたい。
・保護者や地域の願いや目指す生徒像を踏まえ、学習や体験活動を通して将来への展望を持たせると共に、自己肯定感を育んでいきたい。

【保護者や地域の願い】

・あいさつなど人としての基本を身につけてほしい。
・人を思いやり、協調性をもって様々なことに取り組める人になってほしい。
・自分で考えて行動し、自分の言動に責任がもてる人になってほしい。
・自分の夢や希望など、将来の目標をもって生きてほしい。
・つらいことや苦しいことがあってもあきらめない、忍耐力や粘り強さを身につけてほしい。

志教育の目標

「人との関わりを通してよりよい生き方を探求する生徒の育成」

重点指導事項

人と「かかわる」

人間関係の大切さを理解させ、学級や部活動において信頼し合える集団づくりに努める。

よりよい生き方を

「もとめる」

将来の職業と学習の関わりを理解させ、学習や体験活動に取り組ませる。

社会での役割を「はたす」

学級や学年・縦割り集団の中で自分の果たす役割を自覚させ、果たす中で集団の中の個の重要性を理解させ、社会の中で自分の有様について考えさせる。

各教育活動における取組の観点

各教科

学習計画を立てたり成果を自己評価したりするなど主体的な学び方を身につけさせると共に、学習と将来の生き方の関係について理解させる。

道徳

職場体験や自主研修等の体験的な活動と関連させながら「かかわり、はたす」ために必要な礼節や勤労観に気づかせ、社会に寄与する心情を養う。

総合的な学習

職場体験や自主研修を通じた課題解決的な取組の中で、自らの進路について考えさせる。

特別活動

自治的な活動を通し、集団や社会の一員として自己の生き方について考えを深めさせ、自己を生かす能力を養う。

その他

生き方の講演会等を通して他人の生き方や価値観から自らの生き方の参考にさせる。朝読書で伝記などに親しませ、先人の生き方から学ばせる。

家庭との連携

・各種たよりによる啓蒙
・学習計画表の活用

地域・企業との協働

・職場体験活動
・地域行事への参加